

海老名災ボラ情報 No.6 11月の活動報告と12月中旬以降の予定

2020年12月13日発信、文責：海老名災ボランティアネットワーク代表・福田博

【1】会計からの報告（松井会計） 2020年11月末時点での会計報告

- 1) 一般会計 2020年11月末日現在 361,786円（-8,297円）、（ ）内は10月末比
会員数：個人会員31名（±0）、賛助会員13名（±0）、団体会員3団体（±0）
- 2) 特別会計 23,540円（±0円、10月末比）

【2】活動報告2020年11月～12月中旬

- 1) 11月9日（月）海老名市防災関連3者定例会：15時～16時30分、会場：福祉会館
海老名災ボラ情報No.5（11月10日号に掲載したので、それを参照。ここでは省略）
【出席者】災ボラ：福田、星野、市社協：岩澤、市危機管理課：山口
- 2) 11月14日（土）9時30分～11時30分；風水害対策講習会（第3回目）
【会場】海老名市総合福祉会館・第3会議室（2階）
【時間】受付開始9時30分～講演開始10時～講演終了11時30分（質疑を含む）、消毒・清掃。
第3回目は、海老名市自治会連合会防災戸建て部会との共催ではなく海老名災ボラ単独で開催した。
参加人数：6名 星野、水本、中村、石橋、田村英樹、大乘幸子
【感染症対策】マスク着用、手指の消毒の励行、体温測定（非接触型体温計を利用）
【講演】講師：中村敏一（消防庁・消防防災科学センター図上訓練指導員、災ボラ会員）
【質疑討論】防災指導員、民生委員、マンション居住者から質問があり、講師が回答した。
【資料】「海老名市防災ガイドブック」保存版、令和2年3月に市が発行。
- 3) 11月18日（水）「海老名災ボラネットワークだより第36号の発行（自治会回覧用）」
・事前の原稿作成は福田・野中、各自治会宛表紙の「差し込み印刷」は野中が実行
印刷：A4裏表5500枚、封入・封緘・梱包作業：11月18日9時30分～11時頃まで
参加者5名：福田、星野、水本、小澤、石丸
- 4) 11月24日（火）18時30分～20時、神奈川災ボラ運営委員会
会場：神奈川県民サポートセンター11階、会場での出席とZoomでの参加
海老名災ボラからの出席（会場参加）：福田博、鳴原義弘、
【内容】神奈川災ボラ主催のZoom講習会の開催の件（12月6日・13日、8日・15日）
- 5) 12月6日（日）神奈川災ボラ主催のZoom講習会
内容：Zoomの始めかた・ゲスト（参加者）、事前資料配布・Zoomインストールは各自で実施
海老名災ボラの参加者（Zoomで参加）：福田、小澤、水本

【3】今後の予定：12月中旬以降～2021年1月～3月

- 1) 12月中旬、神奈川災ボラ主催の防災関係講習会：Zoomでの参加者を募集中
申込書は海老名災ボラのメーリングリストで送信しましたが、参加希望者には再び送信します。
 - ①12月14日（月）19時～20時：大川小学校の教訓を減災に生かす、講師：鷲山龍太郎、元小学校長
 - ②12月18日（金）19時～20時：新型コロナ感染症予防と避難所運営、講師：神奈川県災害対策課職員
 - ③12月19日（土）15時～17時：Webによるフォームによる情報伝達訓練の体験実習

2) 12月21日(月)10時～ 海老名市防災関連3者定例会

会場：海老名市総合福祉会館、出席予定者：福田、星野、テーマ：1月23日の訓練等について

1月23日(土)に海老名市社協から座間市社協主催「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」に海老名災ボラも参加してほしいという要請が来ています。座間市内の会場に参集することになるので、その時点での新型コロナ感染症の状況と、今後の海老名災ボラの事業予定を軸に、判断したいと考えています。

3) 2021年1月10日(日)、10時30分～12時：海老名災ボラ定例会をZoomで開催

12月12日現在、新型コロナ感染症(第3波)が拡大を続け、全国で見ると、1日当たりの感染者数が連日、過去最高を記録し、医療体制がひっ迫、不要不急の外出自粛の要請が出されています。来年の1月中旬での感染状況は未だ分かりませんが、感染拡大防止を最優先に考えてZoomでの開催としたいと思います。定例会の議題：「1～3月の事業予定、2021年度の海老名災ボラの役員人事の件など」とします。

1月10日(日)の定例会開催に向けて「海老名災ボラ主催のZoom講習会」を実施したいと思います。「Zoom講習会」及び「定例会のZoom開催」に関わる招待状を、「災ボラメーリングリスト」と、Line「海老名災ボラグループ」で、会員の皆さんに連絡(送信)します。

4) 2021年1月～3月の事業予定について(提案：コロナ禍で安全性を考慮しZoomで開催を予定)

- ① 「コロナ禍での災害ボランティアセンターの設置・運営」に関する学習会の開催：(来年1月頃)
全国社会福祉協議会から上記のボラセンの設置・運営に関する資料が出されています。それを使って学習会を開催したいと思います。海老名社協と調整がつけば共同開催としたいと思います。
- ② 海老名市が被災地になった場合、海老名市文化会館(ロビー等)に災害ボランティアセンターが設置される予定になっています。文化会館の図面を見ながら図上訓練を実施したいと思います。(2月頃)
- ③ 新型コロナ感染症拡大がある程度沈静化した状況になれば、感染防止対策を実施した上で、文化会館を会場で実施訓練を行いたいと思います。(文化会館の休館日に、時期は未定)

5) 海老名災ボラのホームページの更新の件

2018年11月24日に館さんが更新した以降、館さんが忙しくなり、更新が出来ておりません。この問題の解決には、ホームページを更新できる会員を複数にすること、また、ホームページ更新に適したアプリを導入したいと私は思います。広報班を軸に関心のある人も含めてZoomでの検討会を開催します。

6) 名災ボラlineグループ作成と会員(個人、賛助、団体)に対する招待作業を継続します

9月中旬以降～海老名災ボラlineグループへの招待作業を実施中で、11月30日現在の参加者は21名(個人会員、賛助会員、団体会員代表者)で、会員総数47名の約45%です。今後も、「招待作業」を続けます。皆さんの参加をよろしくお願いいたします。

7) 2021年度から各自治会で防災指導員が増員されるので、災ボラ会員の協力をお願いします

海老名市危機管理課の話によれば、各自治会で防災指導員を現在の1名から2名にする案が自治会に提案されています。「地域の防災力向上」のために、災ボラ会員が防災指導員になるように、呼びかけたいと思います。

以上